

未来の学校をみんなで作る通信 (MIN-TSUKU通信)

～学校再編準備室からのお知らせ～

vol. 2
(2026年6月15日発行)

■ 今回のテーマ：令和8年度第1回鮎原小学校学校運営協議会に参加してきました(5月21日)。



学校運営協議会とは・・・学校と地域住民などが力を合わせ、子どもたちのより良い環境作りに取り組むための組織で、学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティ・スクール」といいます。学校運営の最終的な責任を持つ校長のパートナーとして、地域の意見を集約・提言し、決定事項を推進する役割を担います。各校区ごとに地域の有識者やPTA役員等から10人程度任命されています。(詳しくは市HPをご覧ください。⇒)



学校運営協議会委員の皆さまに「学校再編に向けての方針(案)」を説明し、ご意見をいただきました。

統合すると、地域とのつながりが薄れるのでは？

地域での体験は大切なので、稲刈りなどの農業体験は残してほしい。

保護者の意見を聞いてほしい。

学校がなくなると、地域が寂しくなる。

跡地活用についても一緒に考えていきたい。

子どもにとって何が一番良いのか。大切なものは何か。

統合時には、安全で安心できる環境を整えてほしい。

空いている運動場も使えたら嬉しい。

放課後子ども教室や学童保育など放課後の過ごし方を考えてほしい。

統合しなくても、学校の修繕はしてほしい。

スクールバスの運行はどうか。

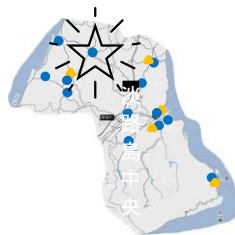
その他、下記について協議されました。
・年間計画(学校行事)について
・年間計画(学校運営協議会)について
・地域学校協働活動について

通学路などの安全対策をしっかりとしてほしい。

■ 鮎原小学校ってどんな学校？

・・・「教育要覧」より

学校教育目標：『ともに まなび はばたく』



特徴的な取組として、
 田植えや稲刈りなどの農作業体験、
 だんじり唄の継承、
 PTA ふれあい活動(親子行事)、
 えるる図書館との連携 など
 家庭・地域の方々の温かさに見守られながら、上級生が下級生の手を引き、思いやりのバトンをつないでいます。

鮎原小学校 校歌

一 我等学びの この底は
あやに かしこき言原や
神のい垣の朝夕に
梅ヶ香におうあたりなり

二 我等学びの この底の
印の梅は 着し
香りを四方に散らさんと
うますたわます励まはば

■ 疑問を解決 🍌

- Q. 放課後子ども教室と放課後児童クラブ(学童保育)の違いは？
 A. 利用条件や目的などは右表のとおりです。(表中※:洲本地域と五色地域では運営方法が異なります。)

事業名	放課後子ども教室【生涯学習課】	放課後児童クラブ【子ども子育て課】
利用条件	小学生	「保護者等が就労等により昼間家庭にいない」小学生
目的	体験活動など学びの場	適切な遊びなど生活の場
料金	有料(年額制)	有料(月額制)
利用時間	週1日程度17時頃※まで	平日・土曜日18時まで

■ 募集中！



学校再編に向けてご意見を募集しています。(HP内で公開中)
 いただいたご意見については、こちらで紹介し、疑問点にお答えしていきます。

■ 次回のテーマ：由良小中学校学校運営協議会の様子をお知らせします。

--- ■ 発行者 ■ ---
 洲本市教育委員会事務局
 教育総務課 学校再編準備室
 ☎0799-22-3331
 ✉kyousou@city.sumoto.lg.jp